

例 地域資料コーナーで「食」を探す

『なごやめし それはパラダイス♥』 なごやめし研究会／編 双葉社 2005. 3

(請求記号 A590/ナコ/870458)

全国的にも有名な「なごやめし」。コーヒー一杯の値段でおなかいっぱい食べられるモーニング、ひつまぶしや味噌煮込みなどの絶品料理から甘口いちごスパ(!)なんてゲテものまで、不思議な名古屋名物が満載。全部まとめて写真入りでご覧下さい。



『愛知の地酒』 横田俊尚／著

丸善名古屋松坂屋店出版サービスセンター 1999. 4

(請求記号 A588/ヨコ/775331)

日本酒の奥深さに魅せられた著者が、県内の酒蔵取材し愛知の酒についてまとめた力作。酒蔵データはもちろん、代表銘柄、蔵元のコメント、瓶・ラベルの写真など情報も豊富。お酒好きにはたまらない一冊です。

【他にも…】三河地方の風習や行事食、食の道具を写真や図で紹介する『安城 食の風景』

(請求記号 A383/アン/679596) などがありません。

『知って安心! あいちの食品 図解ハンドブック』

愛知県健康福祉部生活衛生課 2005. 3

(請求記号 A588/シツ/869040)

愛知県は昔から食品製造業がとて盛んな地域。出荷額が全国トップクラスのソース、みそ、食酢など、主な加工食品の原材料、製造過程を図や写真で紹介したハンドブック。表示や添加物についても詳しく解説しています。



* 愛知発の食品・食材



『もっと身近に愛知の野菜を 春夏秋冬』

東海農政局／編 東海農政局 2006. 3

(請求記号 A626/トウ/888795)

温暖な気候を利用して農作物の生産が活発な愛知県。田原・豊橋のキャベツ、稲沢・安城のほうれんそうなど収穫量の多い野菜を、生産量、県民消費量などの統計数字とともに解説しています。

『摘録 鸚鵡籠中記 元禄武士の日記』 上・下

朝日重章／著 塚本学／編注 岩波書店 1995

(請求記号 210. 52/アサ/669338, 671438)

元禄時代の尾張藩士・朝日文左衛門重章が34年間書き綴った日記「鸚鵡籠中記」。当時の風俗や生活がよくわかる貴重な資料です。そしてこの朝日、食べたものを細かく記録する癖があるようで…結婚式の献立、客を迎えてのふるまい料理、飲みに行った時のつまみまで実に詳細。この時代の人とはどんな食事をしていたのかがわかります。解説書『元禄御堂奉行の日記 尾張藩士の見た浮世』(A240/コ2)もあわせてどうぞ。

* 食と歴史と愛知

